

患者会や患者サロンについて

同じ経験を持つ患者さんの話を聞くことで、具体的に療養生活の知恵を得られたり、気持ちが楽になることがあります。また自分自身の体験が他の患者さんの役に立ち、その人を支えるということもあります。このように「患者同士が支え合うこと」は互いに大きな力になるといわれています。患者同士の支え合いの場として患者会、患者サロンなどがあります。

【患者会】

同じ病気や障害などの共通する体験を持つ人たちが集まり、自主的に運営する会です。互いの悩みや不安の共有、情報交換をしたり、社会に向けた活動をしている会もあります。特定のがんに限定しているところ、さまざまな種類のがんを対象にしているところがあります。

【患者サロン】

患者やその家族など、同じ立場の人が気軽に悩みや体験を語り合う交流の場のことです。患者や市民の要望を受けて、病院内や地域に設置されてきています。患者家族が主体に運営しているところ、医療者を中心に活動しているところなどがあります。

患者会、患者サロンなどの情報は地域のがん診療連携拠点病院の相談支援センターにお問い合わせください。会によって目的や活動内容が異なりますので、資料を取り寄せたり、電話で問い合わせるなどとよいでしょう。

がん患者のための地域の療養情報 大阪府版

《編集》

- 大阪府がん診療連携協議会 相談支援センター部会

《編集協力機関》

- 大阪府立成人病センター
- 市立豊中病院
- 大阪南医療センター
- 大阪市立総合医療センター
- 大阪市立大学医学部附属病院
- 高槻赤十字病院
- 八尾市立病院
- 大阪府立急性期・総合医療センター
- 近畿中央胸部疾患センター
- 大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課がん対策グループ

《問い合わせ先》

大阪府立成人病センター 相談支援センター

電話 06-6972-1123 (直)

がん患者のための地域の療養情報 大阪府版

2011年3月31日発行

2012年1月31日改定